



インターネットでの情報提供			
提供予定日		10月16日(水)	
平成25年10月15日(火) 県政記者クラブ配布資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
国際戦略推進課	総括管理監	高橋 洋子	直通 058-272-8173 内線 2351

「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」

知事の海外訪問（インドネシア、シンガポール、タイ、台湾）について（3）

本県では、平成21年度より、官民が協働し主に成長著しいアジアをターゲットとして「観光・食・モノ」を一体化した総合的な岐阜県PRを展開し、海外誘客と県産品の輸出向上につなげる「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を推進しています。

この取組みの一環として、知事が民間事業者と共に、インドネシア、シンガポール、タイ、台湾の4ヶ国・地域を現在訪問していますので、その活動状況を下記のとおりお知らせします。

記

【日 程】 平成25年10月11日（金）～18日（金）8日間

【目 的】 観光誘客、県産品・農産物輸出の促進

【主な内容（知事日程）】

<インドネシア>

- ・在インドネシア日本国大使公邸における岐阜県交流会開催（観光、県農産物および地場産品紹介）
- ・インドネシアで初開催の観光見本市「ジャパン・トラベル・フェア」参加
- ・著名デザイナーと現地旅行会社が主催する岐阜県PRイベントに出席

<シンガポール>

- ・飛騨牛海外推奨店認定式（高級日本食レストラン「葵匠^{きしやう} Ki-sho」）
- ・格安航空会社 AirAsia と オンライン旅行会社 Expedia の合弁会社「AirAsiaExpedia」訪問

<タイ>

- ・高級ホテル日本食レストラン「きさら」での岐阜県・飛騨牛フェア開催
- ・県内からの進出企業関係者等との意見交換

<台湾>

- ・台湾旅行博「ITF」視察、観光事業者との面談
- ・台湾政府外交部との面談

【民間等からの参加者】

50名（農業・食品関係者、地場産品、蔵元関係者、観光事業関係者、市町村関係者、岐阜県議会議員など）

<10月13日(日) インドネシア>

■ASEAN担当大使との朝食懇談

○日時

10月13日(日) 8:00~9:45 (現地時間)

○場所

ASEAN担当日本国大使公邸

○面談者

石兼公博 ASEAN担当日本国大使 他

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議

○概要

- ・石兼大使と朝食を取りながら、インドネシアをはじめASEAN諸国の現状について話を聞くとともに、「飛驒・美濃じまん海外戦略プロジェクト」の取り組みについて知事が説明を行い、大使への協力依頼と意見交換を行った。

■ERIA、JETROジャカルタ事務所、JNTOジャカルタ事務所関係者との昼食懇談

○日時

10月13日(日) 11:30~13:30 (現地時間)

○場所

Kembang Goela

○面談者

西村英俊 ERIA (東アジア・アセアン経済研究センター) 事務総長

富吉賢一 JETROジャカルタ事務所長

石崎雄久 JNTOジャカルタ事務所長

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、國島芳明 高山市長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長
神野達雄 JETRO岐阜貿易情報センター所長、県国際戦略推進課長

○概要

- ・東アジア・東南アジア諸国の経済統合の推進を目的として政策の研究や提言を行っている国際的機関ERIAの事務総長、インドネシアとの貿易等ビジネス活動を促進する取り組みを行っているJETROジャカルタ事務所長、及びインドネシアから日本への観光客増加を図るための活動を行っているJNTOジャカルタ事務所長と昼食を取りながら各分野の事情について話を聞くとともに、日本とASEAN諸国との観光交流促進に係る振興策等について意見交換を行った。

■岐阜県PRイベント「Souvenir from Gifu」出席

○日時

10月13日(日) 14:00~15:45 (現地時間)

(イベント全体は14:00~17:00)

○場所

グラン・メリア・ホテル

○主催者

Follow Me Japan (FMJ) 社

(シンガポールの大手旅行会社「プライム・トラベル社」の訪日部門を取扱う会社。東南アジアの訪日旅行会社の中で、岐阜県との関係が最も深い会社で、連携事業をこれまで多数実施)

○プロデューサー

Harry Darsono Ph.D (ハリー・ダルソノ) インドネシアの著名なファッションデザイナー

○インドネシア側参加者

約200名

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、野島征夫 県議、水野正敏 県議、村上孝志 県議
加藤大博 県議、田中勝士 県議、國島芳明 高山市長、高原透 高山市秘書課長、堀泰則 岐阜県観光
連盟副会長、中村一 滝元館遊季の里社長、県観光交流推進局顧問、県地域産業課長 等

○行事について

- ・FMJ社が、インドネシア旅行者の顧客獲得のため、同国の著名ファッションデザイナーであるダルソノ氏、岐阜県と連携し、同国の富裕層をターゲットとしたイベントを開催。本県に焦点をあて、本県を中心とした旅行商品のPRを実施。タイトルは「Souvenir from Gifu」
- ・本県及び外国人旅行者の誘致に積極的な県内12の市町村担当で構成する東海地区外国人観光客誘致促進協議会岐阜県部会が同イベントの趣旨に賛同し、当イベントの開催に協力した。
- ・会場内に本県の観光PR・情報提供ブースを設置し、県及び県内市町の観光担当者が来場者に対し県内各市村のPRを実施した。
- ・地場産品ブースも設置し、県産品の魅力についても情報発信を行った。

○概要

- ・鹿取克章 駐インドネシア日本国大使の来賓挨拶に続き、知事がFMJ社とダルソノ氏への感謝と本県の魅力を伝える挨拶を行った。
- ・次に、プライム・トラベル社の西村紘一会長が挨拶を行い、その後、ダルソノ氏が本県を紹介するビデオ「My Dream... My Journey」を同氏と西村理沙 FMJ社社長の解説により披露した。（当ビデオは、本年4月に同氏が西村社長等とともに本県を訪れた際に撮影した映像を、インドネシア向けのPRビデオとして同氏が編集・制作したもの）
- ・ダルソノ氏によるピアノ演奏やソプラノ歌手による歌の披露等が行われた後、本県を代表する「ダンス」として郡上おどりが紹介された。郡上市観光担当職員が解説を行った後、県、市町、インドネシア人が一体となって「かわさき」等を踊った。
- ・古田菜穂子 県観光交流推進局顧問は、本県の様々な魅力・特徴を紹介するプレゼンテーションを実施した。

○主な発言

[大使挨拶]

- ・岐阜県は日本の中で、自然、文化、歴史、工芸品など多くの魅力を有す最も興味深い県の一つ。

[知事挨拶]

- ・西村会長と西村社長には、このような素晴らしい舞台をジャカルタで用意いただき、こんな光栄なことではない。
- ・FMJ社は、何度も岐阜においていただき、本県の隅から隅までご存じ。本県にとって世界一の旅行会社
- ・当イベントは、インドネシアを代表する世界的なファッションデザイナーのハリー・ダルソノ氏が岐阜のためにプロデュースいただいたもので、夢のような思い。
- ・岐阜県は、日本のまん真ん中にあり、自然、歴史、食べ物、工芸品とどれをとっても本物の日本を味わえるところ。
- ・インドネシアは日本にとっての素晴らしいパートナー。日本、岐阜、インドネシアとの大交流が始まった。今回のイベントで大いに岐阜を感じいただき、次は是非岐阜で会いたい。

[ダルソノ氏]

- ・白川郷の合掌造り屋根のポスターを見た際に恋に落ちた。本年4月の岐阜県への旅行は夢のような体験だった。

<10月14日(月) シンガポール>

■シンガポール国家開発大臣との昼食懇談

○日時

10月14日(月) 12:00~13:30 (現地時間)

○場所

Pollen

○面談者

Khaw Boon Wan (コー・ブンワン) シンガポール国家開発大臣

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、國島芳明 高山市長、加藤孝義 岐阜県園芸特産振興会花き部会長
堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、中村一 滝元館遊季の里社長、県観光交流推進局顧問、県国際戦略推進課長

○概要

- ・長期的視点に立った都市計画の策定、公共住宅の開発、社会基盤整備などシンガポールのハード面の開発を担うことを目的に設立された国家開発省の担当大臣であり、シンガポールでの岐阜県PRを応援いただいているコー・ブンワン大臣と、同大臣が開発に携わっている植物園「Gardens by the Bay」内のレストランで昼食をとりながら、本県の観光振興や県産品輸出など、シンガポールと岐阜県との交流促進に関する意見交換等を行った。

■シンガポール工科デザイン大学の視察と学長との面談

○日時

10月14日(月) 14:00~15:10 (現地時間)

○場所

シンガポール工科デザイン大学 (SUTD Singapore University of Technology and Design)

○面談者

Professor Chong Tow Chong (チョン・タウ・チョン) 学長 他

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、國島芳明 高山市長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、中村一 滝元館遊季の里社長、県観光交流推進局顧問 等

○同大学について

- ・2012年4月に設立されたシンガポール4つ目の公立大学で、アメリカのマサチューセッツ工科大学(MIT)との連携によりできた大学。デザインをキーワードとして、MITのカリキュラムの導入や中国の浙江大学とも提携している。

○概要

- ・岐阜県は、2013年2月にシンガポールで実施したプロモーションイベント、「Quality Gifu」キャンペーンの一行事として、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)の准教授と同校卒業生による本県のモノづくりとハイテクの融合に焦点をあてた特別講演をSUTDで開催した。
- ・今後の新たな連携の可能性について探るため、大学を視察し、学長との意見交換を行った。

○主な発言

[学長]

- ・SUTDでは、技術を理解し、技術に基づいたリーダーシップを発揮できるリーダー育成を目指している。世界をデザインで変革しようとするユニークな大学
- ・社会で必要とされている製品、システム、サービスは何かを考え、カリキュラムを設定している。通常は大学で学んだことの90%は社会に出ると活用されない。それを逆転したい。

- ・少人数制で、教員は11人の生徒に1人の割合。教室以外の活動にも力を入れており、企業家精神を育成するために、シンガポールに進出している日系企業を含む160以上の企業でインターンシップを行っている。

[知事]

- ・岐阜県の情報科学芸術大学院大学（IAMAS）の問題意識は、SUTDのそれとかなり近いのではないかと思う。IAMASは、ソフトピアジャパンというベンチャーを含むIT企業が集積する場所にもうすぐ移る。
- ・学長には、一度岐阜を訪問いただき、IAMASやソフトピアジャパンを視察いただきたい。同時に岐阜県の素晴らしい観光地も見てほしい。

[高山市長]

- ・高山には、木を使った建築や彫刻などがあり、木に関するものづくりの原点がある。伝統的工法が今も息づいており、SUTDの先端技術とのコラボレーションが何かできるかもしれない。

[堀副会長]

- ・高山の家具メーカーの中には、SUTDのインターンシップを受け入れることができる企業があるのではないかと思う。SUTDの最先端のテクノロジーとコラボレーションができる可能性はある。

■大手オンライン旅行会社との面談

○日時

10月14日（月）15：30～16：10（現地時間）

○場所

AirAsiaExpedia

○面談者

Vikram Malhi（ヴィクラム・マルヒ）インド・東南アジア ゼネラルマネージャー

○出席者と

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、國島芳明 高山市長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、中村一 滝元館遊季の里社長、県観光交流推進局顧問 等

○同社について

- ・世界最大級のオンライン旅行会社エクスペディア社と、アジア最大級の格安航空会社エア・アジアの合弁会社で、シンガポールに本拠を置く。
- ・アジア太平洋地域のエクスペディア社の事業を統括している。

○概要

- ・シンガポール人の旅行形態は個人旅行化が進んでおり、個人旅行客の多くはネットを活用することから、岐阜県への誘客を促進するため、AirAsiaExpediaと初めて連携事業を実施することで同社との合意に至った。
- ・知事は、これまでの本県のアセアン諸国での観光誘客の取組みや成果、北陸新幹線やリニアの整備予定等について説明し、今後の連携の継続実施について要請を行ったところ、マルヒ・ゼネラルマネージャーも考えに同意した。

○岐阜県PRキャンペーンの実施内容

◇目的 シンガポールからの個人旅行客の誘客促進

◇キャンペーン期間 2013年10月10日（木）～11月9日（土） 1ヶ月間

◇実施内容

- ・エクスペディア（シンガポールサイト）上での岐阜県PRバナーの設置
- ・電子メール受け取りに登録しているエクスペディア顧客への発信
- ・フェイスブック、ツイッター等のSNSによる岐阜情報の発信
- ・キャンペーン実施についての新聞広告

- ・ Today (英字日刊紙のフリーペーパー)
→ 2013年10月14日(月)にカラー掲載

○主な発言

[知事]

- ・今回、岐阜県と連携事業を実施いただいたことに感謝するとともに、効果を上げるためには継続が必要だと考えているため、今後もよろしくお願ひしたい。
- ・岐阜県はこれまでの取組みにより、シンガポール、タイ、マレーシアなどで大きな成果を上げている。
- ・北陸新幹線が今の長野から富山、金沢までつながることで、東京からより早く高山に北から入るルートができる。また14年後にはリニアの開通により、東京から岐阜県まで約30分でつながる。
- ・岐阜県を訪問し、自分の目で是非とも本県を見ていただきたい。

[マルヒ氏]

- ・エクスペディアは世界ナンバーワンのオンライン旅行会社
- ・キャンペーンは継続することが重要だという知事の考えに同感。今回のキャンペーン終了後にはしっかりと分析・検証し、フィードバックする。

■駐シンガポール共和国日本国大使との面談

○日時

10月14日(月) 16:50~17:25 (現地時間)

○場所

在シンガポール共和国日本国大使館

○面談者

竹内春久 駐シンガポール共和国日本国大使

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、國島芳明 高山市長、堀泰則 岐阜県観光連盟副会長、中村一 滝元館遊季の里社長、足立能夫 全国農業協同組合連合会岐阜県本部運営委員会会長、桑田博之 全国農業協同組合連合会岐阜県本部長、県農政部長、県国際戦略推進課長 等

○主な発言

[大使]

- ・シンガポール経済は活気がある。アセアンや欧州等の統括機能をシンガポールに置く日本の企業は多く、中には日本で行っていた機能の一部をシンガポールに移すところもある。邦人数も右肩上がり。
- ・シンガポールは世界の流れ、経済の動きを考えた上で計画を立てており、日本も見習う必要がある。
- ・高山を訪問したことがある。飛騨牛はとても美味しかった。

[知事]

- ・シンガポールから本県への観光客の宿泊者数は2012年に9位となり、空港や港がある福岡県を上回るなどこれまでの取組みの成果が出ている。
- ・飛騨牛は5年に一度開かれるコンペティションで前々回、前回と連続で一位を獲得した。食べれば美味しさを直ぐにわかっていただける。
- ・TPPでは、例えば、ベトナムでの米の関税をゼロにしてほしいといった要望も出している。守るだけでなく、攻めていく部分も必要と考える。

■飛騨牛海外推奨店認定式出席

○日時

10月14日(月) 18:10~18:40 (現地時間)

○場所

「葵匠 Ki-sho」 *日本料理店

○主催者

岐阜県、飛騨牛銘柄推進協議会、岐阜県農林水産物輸出促進協議会

○出席者

約50名

◇シンガポール関係者（約30名）

シンガポール行政関係者、旅行業界関係者、メディア関係者、レストラン、輸入・流通事業者
日本の公的機関現地事務所関係者、大使館関係者

◇岐阜県関係者（約20名）

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、矢島成剛 県議、小川恒雄 県議、森正弘 県議
佐藤武彦 県議、野島征夫 県議、水野正敏 県議、村上孝志 県議、加藤大博 県議、田中勝士 県議、
國島芳明 高山市長、足立能夫 全国農業協同組合連合会岐阜県本部運営委員会会長、桑田博之 全国農業協同組合連合会岐阜県本部長、河本晃 全国農業協同組合連合会岐阜県本部営農販売支援部長、川尻哲男 全国農業協同組合連合会岐阜県本部畜産部長、神野達雄 JETRO岐阜貿易情報センター所長、県農政部長、県観光交流推進局顧問 等

○認定について

- ・飛騨牛銘柄推進協議会（会長：大池裕、構成：JA全農岐阜県本部ほか関係9団体）では、日本国外において、5等級及び4等級の飛騨牛を継続的に取り扱う販売店や料理店を認定店として認める制度を設けている。海外においては、飛騨牛海外推奨店として認定される。

○行事について

- ・今回、シンガポールにおいて、新たに「葵匠 Ki-sho」を飛騨牛海外推奨店に認定することとなったことを受け、現地メディア等を通じてシンガポールでの飛騨牛の知名度向上を図り、同国での飛騨牛の取扱店舗の増加と輸出拡大につなげるため、飛騨牛及び岐阜県PRを兼ねた飛騨牛海外推奨店認定式を開催
- ・シンガポールで現在営業している飛騨牛海外推奨店は、「葵匠 Ki-sho」の認定により3店舗となる。

○概要

- ・知事による主催者挨拶、竹内駐シンガポール日本国大使による来賓挨拶に続き、足立能夫 全国農業協同組合連合会岐阜県本部運営委員会会長から認定証を、知事からは銘板が葵匠に授与された。
- ・その後、古田菜穂子 県観光交流推進局顧問が、県の観光についてPRを行い、観光資源として岐阜県には美味しい食材があること等を述べた。
- ・シンガポール関係者には、試食用として各種飛騨牛料理（タタキ、すき焼き、寿司等）や柿やりんごといった果物、地酒等が振る舞われ、県関係者は現地メディア等からの質疑への対応や、観光PRを行った。

○主な発言

[知事挨拶]

- ・シンガポールでの飛騨牛海外推奨店は3店舗目。シンガポールでこれから益々飛騨牛を食べていただきたい。
- ・飛騨牛を先頭に、多くの人々に岐阜県のPRを頑張っていたいただいたおかげで、本県へのシンガポールからの観光客は全国9位となった。訪問先を決める上でシンガポール人が重視するのは食べ物。本日は、飛騨牛や岐阜の食材を食べて大いに楽しんでいただき、次は岐阜においていただきたい。
- ・論より証拠で、食べていただければ飛騨牛の良さを直ぐにわかっていただけはず。

[大使挨拶]

- ・素晴らしい高級牛肉である飛騨牛を生産するためには、情熱と心を込めた作り方が必要となる。言葉を並べるよりまずは味わっていただきたい。
- ・岐阜県は年間を通じて様々な魅力がある。

[高山市長]

- ・飛騨牛は、生産量が少ないため、肉の宝石と呼ばれている貴重なもの。脂がきめ細かいことと、旨みがあることが2つのポイント。
- ・飛騨牛は、口に入れるとあっという間に溶けてしまう。じっくりと味わっていただきたい。

○シンガポール関係者の声

- ・飛騨牛がなぜ美味しいのかわからなかったが、理由を説明してもらいよくわかった。
- ・シンガポール人は美味しいものに敏感。葵匠の料理を試食し、十分受け入れられると思う。

■シンガポールの旅行業関係者等との夕食懇談

○日時

10月14日(月) 18:45~21:20 (現地時間)

○場所

葵匠

○面談者

竹内春久 駐シンガポール共和国日本国大使

福嶋教郷 在シンガポール日本国大使館二等書記官

Lionel Yeo (ライオネル・ヨー) シンガポール政府観光局長官

Phillip Goh (フィリップ・ゴウ) シンガポール航空副社長 (東南アジア地域担当)

Patricia Auyeong (パトリシア・アウヨン) NATAS 旅行フェア部門CEO代理

Aun Koh (アウン・コー) MVP Cディレクター、有名ブロガー

○出席者

知事、村下貴夫 県議会副議長、玉田和浩 県議、國島芳明 高山市長、県農政部長、県観光交流推進局顧問

○概要

- ・知事は、飛騨牛海外推奨店認定式に出席いただいた竹内大使等6名と、認定式の後、葵匠で飛騨牛料理による夕食懇談を行った。
- ・飛騨牛をシンガポールでブランド牛として一層普及させるための方策や、飛騨牛を活用した岐阜県への観光客の誘致などについて、各出席者から具体的な提案や意見が出るなど、活発な意見交換が行われた。



岐阜県PRイベント/知事挨拶 (インドネシア)



岐阜県PRイベント／現地の皆さんと郡上踊り(インドネシア)



岐阜県PRイベント／地場産品ブースで県産品の魅力をPR
(インドネシア)



大手オンライン旅行会社と意見交換（シンガポール）



飛騨牛海外推奨店認証式（シンガポール）



現地関係者に飛騨牛や柿、りんご、地酒等
を提供（シンガポール）